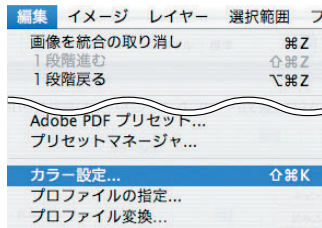


3-2 Photoshopでの色空間の設定方法

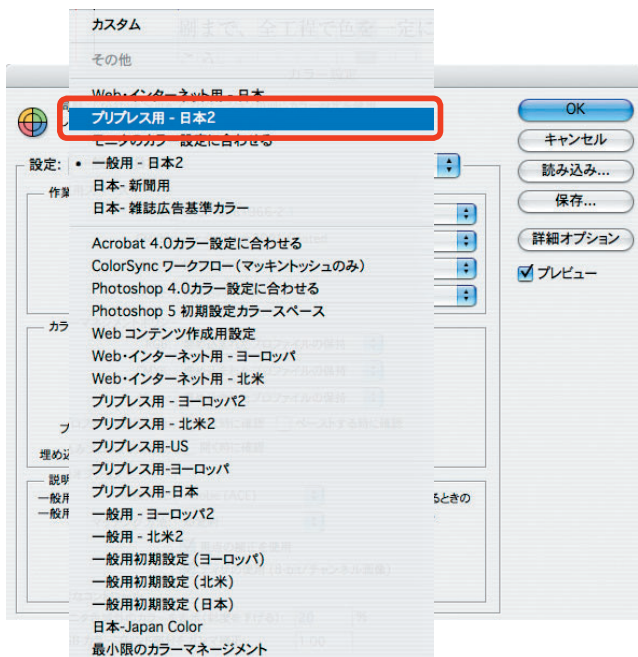
Photoshopでは、色空間の設定を「カラー設定」で行う。ここでは、設定を変更して、色空間を「sRGB」から、「Adobe RGB」に変更する手順を説明する。



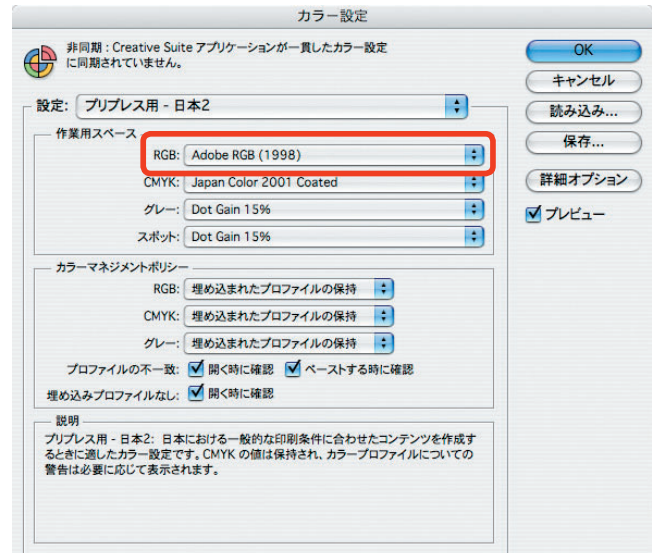
① メニューバーから「編集」→「カラー設定」をクリックする。



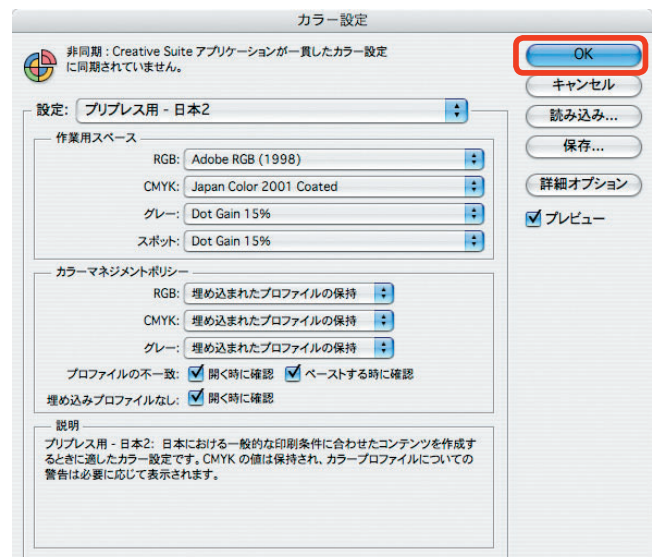
② 「設定」のポップアップメニューをクリックする。



③ 「プリプレス用-日本2」を選択する。

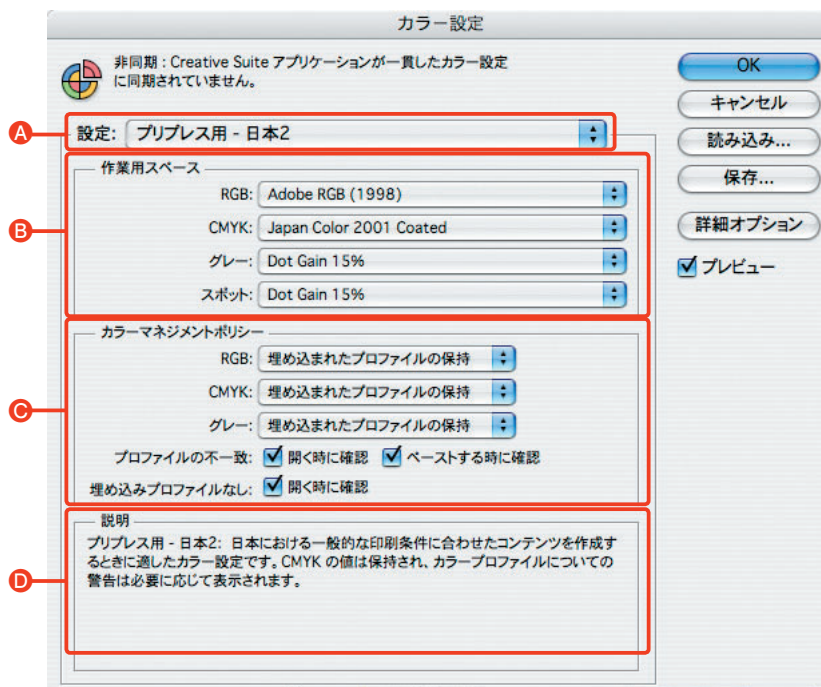


④ RGBの作業用スペースが「Adobe RGB (1998)」となる。



⑤ 「OK」ボタンをクリックする。

【カラー設定】の基本項目について



A 設定

目的や用途に応じた代表的な設定（プリセット）を選択できる。

B 作業用スペース

RGB、CMYK、グレイ、スポット（特色）それぞれのPhotoshopでの色空間（カラースペース）を選択できる。

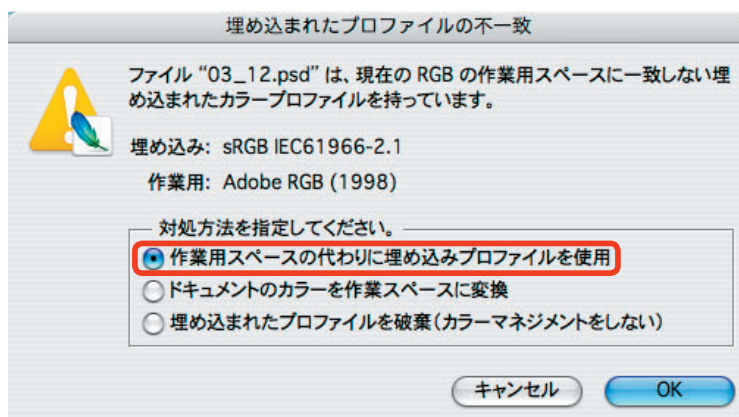
C カラーマネジメントポリシー

画像にあらかじめ埋め込まれているカラープロファイルに従うか、それとも無視するかをここで決める。

D 説明

各項目にマウスポインタを合わせると、この説明欄に項目の詳細説明が表示される。

設定と異なるカラープロファイルを持ったデータを読み込んだ場合



Photoshopの設定とは異なる色空間のプロファイルを持つデータを開くと、上のような画面が表示される。

写真を撮影したときに意図していた色を見たいのなら、[作業用スペースの代わりに埋め込みプロファイルを使用]を選び、そのまま[OK]ボタンをクリックすればよい。

自分の環境に当てはめて調整したいなら、[ドキュメントのカラーを作業スペースに変換]を選択する（このと

き、色空間を変えても表示色が変わらないように、RGB値は変化する）。

個人で撮影から画像処理、プリンタで出力する分には、大きな問題は生じないだろう。しかし、他からのデータを扱うようなときに、たとえ警告メッセージが表示されてもこのことを覚えておけば慌てずに対処できる。